

EHS活動の目標と実績／環境会計

東京エレクトロングループではEHS活動目標を設定し、グループ全体でEHS活動を推進しています。

EHS活動目標と2007年度実績

	活動項目	2007年度達成目標	実施結果	評価	2008年度以降の計画、目標	関連するページ
EHSマネジメント	EHS相互監査の実施	サプライチェーンを含めた事業所間でのEHS相互監査を実施	1事業所においてサプライチェーンの項目を追加し実施、発見した指摘事項を是正した	○	継続して監査を行っていく	P.17
製品における環境への取り組み	装置の省エネルギー化	TELロードマップ*指標の達成	既存装置への反映を進めた	○	Technology for Eco Life コミットメントの達成に向けての基準づくりと活動推進	P.20-23
			300mm製品:2007年度目標を6製品中2製品達成し、2010年目標に向け活動中	△		
	装置に含まれる規制化学物質対策	TELロードマップ指標の達成	RoHS指定6物質の調査と非含有代替品への変更を推進	○	2008年度下期出荷開始に向けた準備と対応	P.24
事業所における環境への取り組み	省エネルギーの推進	エネルギー使用量の削減(省エネ法に基づき、CO ₂ 発生量ベースで売り上げ原単位比1%削減)	売上高に対する原単位では昨年度より低減し、前年度比1%削減という目標を達成した	○	同上コミットメントの達成に向けての基準づくり、ロードマップ作成と活動推進	P.28
			国内の物流量を正確に把握し、モーダルシフトを推進した	○	同上コミットメントの達成に向けての基準づくりと活動推進、海外向け輸送方法の検討	P.25
	廃棄物の削減	製造系事業所でのゼロエミッション継続	製造系事業所においてゼロエミッションを達成した グループ全体のリサイクル率は、昨年と同等の高水準で推移	○	ゼロエミッションを継続する、廃棄物総量の削減を検討する	P.30
健康・安全	人身災害事故の削減	人身事故の件数を前年度より30%削減する	人身事故件数は前年度比約40%以上削減することができ、目標を達成した	○	人身事故の件数目標は2007年度比25%削減	P.32

*TELロードマップ:当社グループ製品に関する環境対応の方針・計画 ○目標達成 △目標の80%を達成 ×目標の80%未満の達成 -目標設定していない項目

環境会計

集計範囲:東京エレクトロングループ国内主要事業所(札幌、東北、宮城、赤坂、府中、横浜、相模、穂坂、藤井、尼崎、大阪、佐賀、熊本、合志、大津)

集計期間:2007年4月1日~2008年3月31日

当社グループの環境会計は「環境会計ガイドライン(2002年版)」および「環境会計ガイドブックII」(環境省)に準拠しています。

2007年度環境保全コスト

(千円)

項目	主な取り組みの内容	設備投資額	経費合計
1. 事業エリア内コスト		476,881	657,730
1.1 公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染防止など	385,561	346,867
1.2 地球環境保全コスト	温暖化防止、オゾン層保護など	91,320	77,233
1.3 資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物減量化など	0	233,630
2. 上・下流コスト	グリーン購入、グリーン調達など	0	641,673
3. 管理活動コスト	環境教育、環境負荷の監視・測定など	22,705	219,168
4. 研究開発コスト	製品の研究開発など	0	1,741,927
5. 社会活動コスト	緑化、地域の環境活動支援、情報開示など	0	38,107
6. 環境損傷コスト	自然破壊の修復など	0	0
7. その他のコスト	その他	0	0
合計		499,586	3,298,605

2007年度環境保全対策に伴う経済効果

(千円)

環境保全コストの分類	内容	金額
● 電力およびその他のエネルギーについての効果	電力使用量の削減(例:設備の計画停止)	-16,484
● 水についての効果	水の使用量削減(例:冷却水の循環利用)	-7,777
● 紙についての効果	紙の使用量削減(例:両面コピーの奨励、電子化)	-1,032
● 各種資源についての効果	重油やガスなどの使用量削減	-2,560
● その他についての効果	液体塗料やコピー用トナーの使用量削減	-9,730
● 廃棄物に関する効果	廃棄物処理量の削減	91,636
● 水域および土壌への排出に関する効果	下水道への排出削減	-104
合計		53,949